

# メコンの風にうたう

## ～ラオスのケーン～



3月22日(火)午後7時から音楽工房ホールにて第110回レクチャーコンサート「メコンの風にうたう～ラオスのケーン～」(協力:伊丹アイフォニックホール)を開催しました。出演は、ラオスから初来日の伝統芸能団「ドクパーベッポントン」の皆さん12名。伝統楽器と歌と踊りの華やかな演奏家たちです。解説は大阪音楽大学名誉教授で浜松市楽器博物館名誉館長の西岡信雄さん。

タイトルのメコンとはラオスとタイの国境を南北に流れる全長1,500kmの大河メコン川。そのメコン川流域のラオス側平地に暮らし、主に農業を営む人々がラオ人です。民俗楽器ケーンはこのラオ人の伝統楽器で、日本や中国の笙のルーツです。見た目は竹の筒が束ねられていますが、音の出る部分はリードと呼ばれる金属の薄くて細い板です。皆さんが学校で使うハーモニカや鍵盤ハーモニカの音が出る部分の薄い小さな金属の板がリードです。

このケーンの特徴は、息を吹いても吸っても音が鳴ることで、息継ぎのないノンストップ演奏ができることです。コンサートでは、通常サイズの長さ1mほどの

ケーンのほか、今は使われなくなった2.5mの長大ケーンも登場。弦楽器のソーヤカチャツビ、太鼓のコーン、小型シンバルのサーブヤシン、拍子木とギロを組み合わせた打楽器マイケコブ、それに華やかな歌と踊りが加わって、幸福と繁栄を祝う民謡ラムから「母のふるさと」「シーバンドン爺さんの財産」「誘惑」「女性に声をかける時」「片足で踊るサラワン」など10曲を演奏。「誘惑」では客席から男性2人をステージに誘い、踊り手が男性の頬に手を触れると男性は照れ笑い。和やかな空気が漂いました。またコンサート半ばには、幸福を呼ぶ儀式のパーシーのデモンストレーションがあり、出演者は客席に降りて聴衆の手首に招福の白い糸を結びつけました。

ラオスの皆さんの親しみある優しい笑顔で会場は始終アットホームな雰囲気。ラオスという国は日本では日頃ニュースで取り上げられることもなく、なじみのない国ですが、集まった約100名の聴衆は、東南アジア、ラオスの魅力を発見されたことでしょう。

## イヴニングサロン 「ハルダンゲル・フィドル」



日時：平成23年1月15日(土)18:30～19:30  
会場：展示室天空ホール 出演：山瀬理桜、矢野小百合、  
中村真理(ピアノ) 入場者：66人

ハルダンゲル・フィドルは、ノルウェー西部のハルダンゲル地方に伝わる民俗ヴァイオリン。現地の言葉では、「ハーリング・フェーレ」と呼ばれます。ヴァイオリンよりやや小ぶりで、旋律弦の下に4～5本の共鳴弦が張られているのが特徴。旋律弦だけでなく、この共鳴弦も調律します。演奏中はこの共鳴弦が絶えず鳴りつづけているので、やわらかくそして独特の音色を奏でます。

コンサートは、ノルウェー民謡「クラブダンス」や、北欧民謡「ノルウェーダンス」、ノルウェーの国民的作曲家E. グリークの音楽劇「ペールギュント」より「ハリング」、ノルウェー民謡「スプリングル」などを演奏しました。ハルダンゲル・フィドルの解説の際に、組曲「ペールギュント」の冒頭で奏でられる旋律はハルダンゲル・フィドルの共鳴弦の調律と同じと説明を受け、名曲と楽器とのつながりにお客さんは驚いていました。美しく透き通るような音色を堪能しました。

## ワークショップ 「韓国の伝統楽器“チャンゴ”を演奏しよう！」

チャンゴは、韓国で最も有名な伝統楽器です。近年日本で数多く放映されている韓国ドラマなどにも登場したので目にすることがあるかもしれませんが、日本の能などで使われる両面太鼓「鼓」を大きくした形をしています。ワークショップは、リ・チャンソプさんの指導でチャンゴのバチの持ち方から、チャンゴの演奏曲の音楽構成に至るまで実演を交えて解説されました。今回は、初心者でも演奏しやすい「クッコリ」と「フィモリ」という2つのリズムに挑戦し、受講者は楽しみながら演奏されていました。また、チャンゴのほかにも「ブク」、「ケンガリ」、「チン」という楽器とアンサンブルするまでに至り、アンサンブル「サムルノリ」を体験しました。



日時：平成23年2月12日(土)18:00～20:30  
会場：展示室 出演：リ・チャンソプ 参加者：19人

## 講座 「楽器の中の聖と俗～アンデスの祭り」



第48回「悪魔と美女の踊り」平成23年1月22日(土)  
第49回「標高4千メートルでシークを吹く」2月5日(土)  
第50回「パチャママに捧げるピンキーリオの音」2月19日(土)  
いずれも 18:00～20:30 会場：展示室  
出演：西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授、浜松市楽器博物館名誉館長) 受講者：延べ67人

講座「楽器の中の聖と俗」は、開館以来開催している連続講座です。世界各地の音楽文化を調査している当館名誉館長の西岡信雄さん(大阪音楽大学名誉教授)を講師に、楽器や音楽の謎にさまざまな視点からアプローチしています。平成22年度は、アンデスの祭りをテーマにして3回開催しました。

第48回は「悪魔と美女の踊り」と題して、毎年2月にティティカカ湖周辺の街々で行われる仮面姿の悪魔や美女たちが乱舞するカーニバルのようすを紹介しました。第49回は「標高4000mでシークを吹く」。葦製のパンパイプ「シーク」をテーマに開催しました。世界各地で使われているパンパイプの中でも、ここアンデス地方にしか見られない独特な演奏習慣について説明がありました。第50回は、「パチャママに捧げるピンキーリオの音」。「パチャママ」とは、アンデスの人々が信仰する大地の神様で、自然を神格化したものです。「ピンキーリオ」は竹でできたリコーダーと同じ仕組みの楽器。自然と楽器のつながりについてお話をされました。

今回のアンデスの祭りシリーズは、平成22年の冬に西岡氏が取材されたペルーとボリビアをとりあげ、現地で収録された貴重な映像とともに興味深いお話を聴くことができました。

# 体験ルーム、リニューアル進行中



浜松市楽器博物館は「みる・きく・ふれる」の展示がモットーです。その「ふれる」展示を実現しているのが「体験ルーム」です。開館時からあった旧体験コーナーが2006年3月にリニューアルして大きくひとつの部屋「体験ルーム」になりました。自由に音の出せる楽器やおもちゃがたくさんそろっている、楽器博物館の人気スポットです。しかしこの体験ルームも早いもので出来てから5年が経ち、楽器や部屋の痛みが目立ってきました。そこで現在、リニューアル進行中です。楽器の解説パネルや壁を飾る絵や布などが、次々と新しくなっています。また新しい楽器やおもちゃも少しずつ増えてきています。今日はリニューアル進行中の体験ルームをご紹介します。



中国の編鐘（へんしょう）：紀元前の古代中国で儀式に使われた一組の鐘（かね）の模型。音の高さの違う鐘を順番に吊るしたもので、バチでたたいて鳴らします。中国の宮殿風の屋根がつきました。強くたたくと鐘が割れるので、やさしくたたいてください。



竹の楽器コーナー：右はインドネシアの竹のハンドベル「アंकulun」。カランカランという音がします。そのとなりに縦に並べた竹シロフォンで、左端は手をふれないで鳴らす不思議な楽器。さてどうやって鳴らすのでしょうか？

準備中のコーナー。ここにはカエルの声や、雪道を歩く音、風の音、雷の音、波の音など、自然の音を作り出す道具が並び予定です。さて、どんな道具が登場するのでしょうかお楽しみに。

## ガムランを通して聖隷クリストファー中学校との共同授業



市内の私立中学校と楽器博物館の共同企画で、インドネシア・ジャワ島の伝統楽器「ガムラン」を通して世界の文化を知るという総合学習の授業が行われました。この授業は、ただ単に珍しい楽器を演奏するだけではなく「ガムランを通して、インドネシアさらには世界の文化を学ぶ」ことを目標としています。授業は、講座、見学、体験に分けて行いました。講座は、インドネシアの地理気象・伝統文化・宗教・暮らしなどのお話、見学では展示室の楽器についてのワンポイント解説などを行いました。その後、展示室に展示してあるジャワ・ガムランの実技を1時間半ほど体験しました。

大変内容の濃い一日でしたが、中学校での事前学習もきちんとされていて、生徒さんは興味深そうにお話を聞いたり楽器を演奏されていました。

### 共同授業

「ジャワガムランを通してインドネシアを知ろう」  
 日時：平成23年2月4日（金）10:00～15:00  
 会場：展示室、研修交流センター  
 参加校：聖隷クリストファー中学校1年生26人  
 講師：梅田徹（当館学芸員）

## オリジナルCD新発売

当館所蔵楽器による演奏を録音をしたオリジナルCDに新たなシリーズが加わりました。シリーズ30「ラ・カンパネラ～エラールピアノ、音の世界～」ではエラール社のピアノ(1874年製)を使い、1830年から1917年にフランスの名作曲家によって作られた作品を収録しました。シリーズ31「ラ・ヴァルス～華麗なるデュオ・ピアノの芸術～」では、大変珍しいデュオ専用につくられたブレイエル社のピアノ(1925年製)による演奏。ひとつのピアノで奏でるピアノデュオの溶け合う響きを余すことなく収録しました。現代のピアノとは違う、フランスの文化が薫る個性あるピアノの音色をどうぞお楽しみください。



シリーズ32「バロック時代のフルート協奏曲～バッハ、ブラヴェ、テレマン、クヴァンツ」は、世界の至宝といふべきフライヤー作の「クヴァンツ・フルート」を使い収録しました。250年近い歳月を経て、今もなお当時の音色を聞かせるフルートと、同じく貴重なブランシェII世製作のチェンバロ、そして弦楽合奏による名曲をどうぞお楽しみください。

当館ショップ (TEL 053-451-0300)、Amazon.jpなどで好評発売中

## ◆これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説  
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日1時間毎  
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- 特別展  
「人形たちのシンフォニー・そのかわいい姿が楽器の古今を物語る」  
7/28(木)～8/31(水) 展示室
- 特別展・講演会  
「音楽史の証人・楽器を奏でる人形たち」  
8/3(水)18:45 展示室
- ミニ展示  
「バグパイプ博覧会」  
8/6(土)～8/31(水) 展示室
- レクチャーコンサート  
「ビルマの聖琴“サウン・ガウ”」  
5/1(日)14:00 音楽工房ホール  
「宮廷の華・ダンスと音楽～ルネサンスからバロックへ～」  
5/22(日)18:30 展示室天空ホール  
「イングランド麗し～吟遊詩人の歌と変奏曲～」  
6/8(水)19:00 展示室天空ホール  
「中央アジア・キルギスの“コムズ”」  
7/16(土)18:30 展示室天空ホール  
「ジャワ・ガムランの世界～古典から現代まで～」  
7/23(土)14:00 音楽工房ホール  
「影絵幻想・ジャワのワヤン・クリ」  
7/24(日)14:00 音楽工房ホール  
「北インド夢幻・サロードの音宇宙」  
7/30(土)18:30 展示室天空ホール  
「バグパイプ博覧会」  
8/6(土)18:45 音楽工房ホール  
「アラブ音楽の精髓“ウード”」  
8/27(土)18:30 展示室天空ホール
- イブニングサロン  
「弦楽四重奏～ハイドン&シューベルト～」  
4/8(金)18:45 展示室天空ホール  
「18世紀イギリスのチェンバロを聴く」  
4/23(土)18:30 展示室天空ホール  
「クール&クリスタル～グラスハーブ～」  
5/14(土)18:30 展示室天空ホール  
「サロンでタンゴ」  
5/30(月)19:00 展示室天空ホール  
「魅惑のショパン～バラード&ノクターン」  
6/6(月)19:00 展示室天空ホール  
「バッハ～無伴奏チェロ組曲～」  
6/13(月)19:00 展示室天空ホール

## ●ミュージアムサロン

- 「テルミン&マトリョミン」 5/3(火)14:00&15:30
- 「オンド・マルトノ」 5/4(水)14:00&15:30
- 「ハモンド・オルガン」 5/5(木)14:00&15:30
- 「フルート・アンサンブル」 5/8(日)14:00&15:30
- 「バグパイプ博覧会」 8/6(火)～8/7(水)時間未定
- 「トゥバ共和国の楽器」 8/10(水)14:00&15:30
- 「オカリナ・アンサンブル」 8/13(土)14:00&15:30
- 「市民コンサート」 8/20(土)13:00～18:00

## ●講座

- 「What's Jazz?～その魅力を探る～」(全3回)(ジャズ入門)
- 第1回「ジャズ誕生からスウィング時代まで  
～大衆化はどのように進んだか～」 5/12(木)
- 第2回「革命によるモダンジャズ時代の到来  
～鳥がやってきて若者は驚き喜んだ～」 5/19(木)
- 第3回「電化による新しい表現  
～マイルス・デイヴィスから現代ジャズへ～」 5/26(木)
- いずれも19:00 展示室
- 「アフリカを知ろう!～親指ピアノのワークショップとアフリカのお話～」 4/25(月)18:45 展示室

## ◆博物館日誌

- 1/15(土)イブニングサロン  
「ハルダンゲル・フィドル」  
18:30 展示室天空ホール 出演:山瀬理樹、中村真理  
矢野小百合、入場者:66人
- 1/22(日)講座「楽器の中の聖と俗～アンデスの祭り～(全3回)」  
第48回「悪魔と美女の踊り」  
18:30 展示室 講師:西岡信雄 参加者:20人
- 2/4(金)共同授業「ジャワガムランを通してインドネシアを知ろう」  
10:00 展示室 講師:梅田徹(当館学芸員)  
参加校:聖隷クリストファー中学校1年生26人
- 2/5(土)講座「楽器の中の聖と俗～アンデスの祭り～(全3回)」  
第49回「標高4千メートルでシークを吹く」  
18:30 展示室 講師:西岡信雄 参加者:28人
- 2/6(日)ミュージアムサロン「ブルーグラス」  
13:00 展示室天空ホール 出演:River of Time(横浜)、  
Honey Nights(横浜) 参加者:48人
- 2/12(土)ワークショップ  
「韓国の両面太鼓～チャンゴを演奏しよう～」  
18:00 展示室 講師:リ・チャンソプ 参加者:13人
- 2/5(土)講座「楽器の中の聖と俗～アンデスの祭り～(全3回)」  
第50回「パチャママに捧げるピンキーリオの音」  
18:30 展示室 講師:西岡信雄 参加者:19人
- 3/22(火)レクチャーコンサート  
「メコンの風に歌う～ラオスのケーン～」  
19:00 音楽工房ホール 出演:ドクバーベッポ  
ントン、西岡信雄 入場者:76人

## 利用案内

常設展観覧料:大人400円 高校生200円  
中学生以下・障害者・高齢者(70歳以上)は無料  
開館時間:9:30～17:00  
休館日:毎月第2・4水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、  
その他施設点検等のための臨時休館日

## 浜松市楽器博物館だより

平成23年4月1日発行 No.63  
編集 浜松市楽器博物館  
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1  
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129  
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp  
URL http://www.gakkihaku.jp/

お知らせ:「浜松市楽器博物館だより」は、ホームページからも見る事ができます。また、ホームページでは最新のイベント情報も紹介しています。ぜひご覧ください。